

第29回全国障害者スポーツ大会 ボランティア養成基本方針

第29回全国障害者スポーツ大会に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者（以下「大会参加者」という。）並びに一般観覧者をサポートするため、大会参加者や一般観覧者を温かくもてなす「大会運営ボランティア」をはじめ、手話や要約筆記等の専門技能で情報提供を行う「情報支援ボランティア」、選手団と行動を共にし、選手の実力を最大限に引き出す「選手団サポートボランティア」など、各種ボランティアを計画的に養成する。

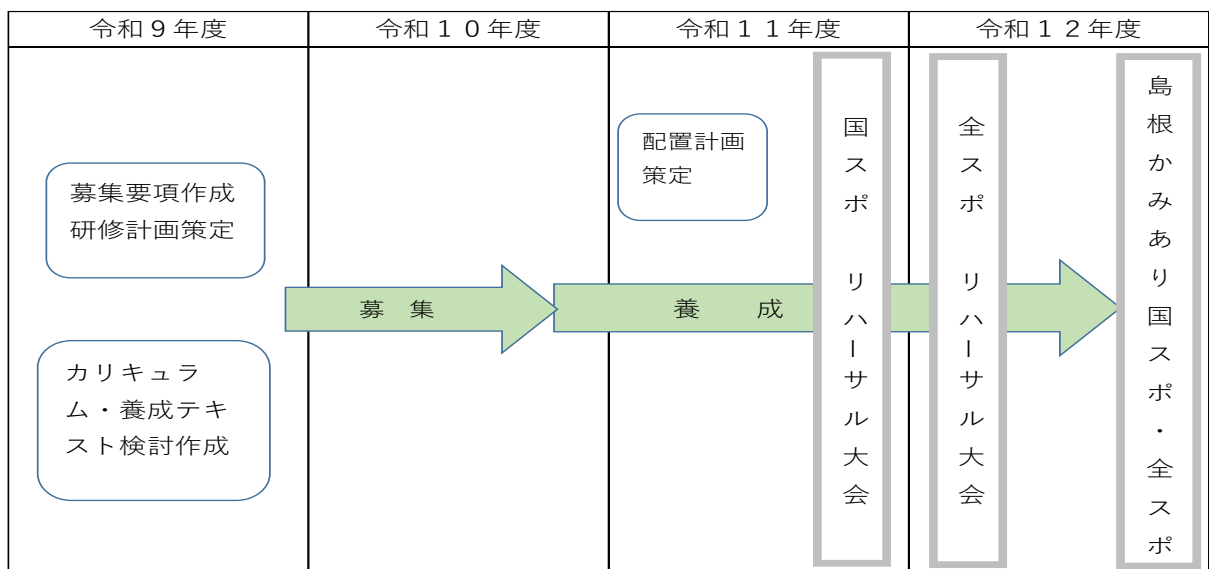
1 大会運営ボランティア

大会参加者及び一般観覧者をおもてなしの心でお迎えするため、第84回国民スポーツ大会と連携して、大会運営ボランティアを広く県民から募集する。

(1) 種別及び内容（想定）

種別	内容	人数
案内・介助	総合案内所などでの案内・誘導・介助	3,500人
会場整理	観客の改札、案内、誘導等	
会場美化	飾花の管理、会場内の清掃等	
会場サービス	弁当・飲み物の配布等	
式典	開・閉会式等の式典補助	
おもてなし広場	おもてなし広場の運営補助等	

(2) 養成スケジュール



2 情報支援ボランティア

聴覚障がい者への情報保障を図るとともに、すべての人に分かりやすい情報提供を行うため、関係団体等の協力を得ながら、各種情報支援ボランティアを養成する。

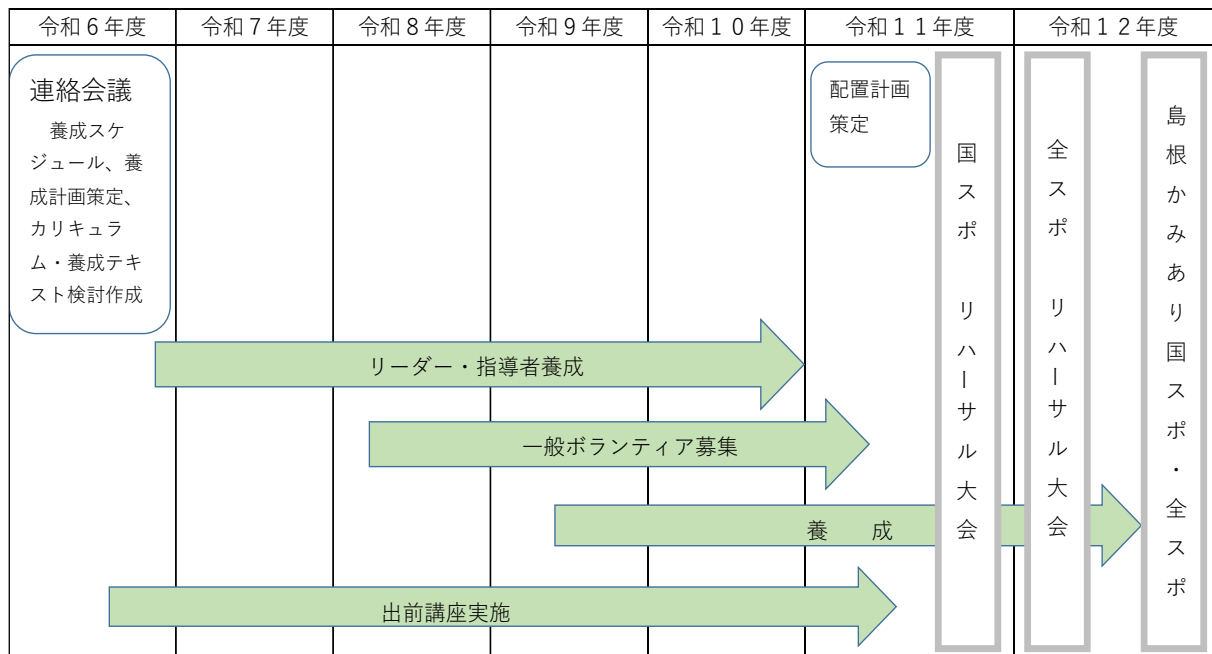
(1) 種別及び内容（想定）

種別		内容	人数	
手話		手話による情報の提供及びコミュニケーション保障	400人	
要約筆記	手書き	ノートテイクやホワイトボードを使用した情報の提供	150人	200人
	パソコン	パソコンに入力したデータ情報による情報の提供	50人	
合計			600人	

(2) 養成協力団体

社会福祉法人島根県社会福祉事業団（島根県聴覚障害者情報センター）等

(3) 養成スケジュール



3 選手団サポートボランティア

大会に参加する選手及び役員の介助・誘導等のサポートを行い、大会運営の円滑化を図るとともに、選手との交流を通して次世代の若者が障がいのある人への理解を深め、大会終了後も、様々なボランティアとして地域で活躍するきっかけとなるよう、学生等で構成する選手団サポートボランティアを養成する。

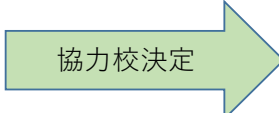

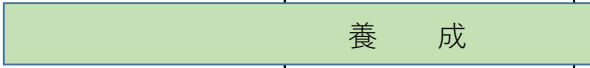
(1) 種別及び内容（想定）

種別	内容	人数
選手団サポート	選手団の歓送迎・介助・誘導・交流等	800人

(2) 養成協力団体

大学・専門学校 等

(3) 養成スケジュール

令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">協力校決定・依頼</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">カリキュラム・養成テキスト検討作成</div>	 協力校決定	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">配置計画策定</div>	<div style="border: 2px solid gray; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;">全スポ リハ ーサル 大会</div>  <div style="border: 2px solid gray; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center; margin-left: 10px;">島根 かみ あり 全 ス ポ</div>
 養成			